

学校教育目標

笑顔で

かしこく

たくましく

上谷の丘

～ 本当の笑顔と学びがある学校を ～

坂戸市立上谷小学校 学校だより

令和4年2月24日 NO. 23

文責 校長 柴崎 利美

児童数182名（2月24日現在）

学びも遊びも楽しく朗らかに

～ 笑顔でコロナに負けない免疫力を ～

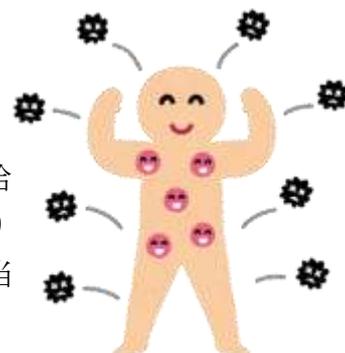
上谷小ではマスクでの生活・3密を避ける・換気・手洗いうがい・給食での黙食は学校生活上の当たり前になっています。コロナの広がりを防ごうと先生や大人の言いつけを守り、不自由な環境を先取りし、当り前の生活としている上谷っ子達はなんとも健気です。

「病は気から」と言われます。コロナだけでなく、病気にかからないようにするには、なんといっても健康な体を維持・増進することです。気持ちが負けてはいけません。私が一番気になるのは、「とにかくワクチンを。」といったワクチン万能の感覚です。ワクチンを打てば何とかなる。ワクチンがなければ「もうだめ…」と暗い顔で言う巷（ちまた）のバイアスです。基本的なところをもう一度捉え直す必要があると思います。人間「体（健康）が資本」ではないですか。高校受検、仕事上の事情、基礎疾患の状況等々、社会的な立ち位置でワクチンが必要な人はもちろん必要ですが、それ以前に自分でできることはあるのではないかと考えてしまうのです。人間は本来、免疫力を持っています。笑顔（明るい笑い）は免疫力を高めるのです。ワクチンを打つことがあっても、笑顔の健康体+アルファと考えますます免疫力を高めてもらいたい。

授業時間中、校内を回るととても静かです。「あれ。誰もいないのかな？体育で外？」と思って教室をのぞくと静かに授業を受けているのです。また休み時間、子どもたちはグラ

ンドで笑いながら走り回っています。本当に楽しそうにお友達と歩きながらお話をしている子もいます。5分や10分の本当に短い時間ですが、上谷っ子にとってはお金で買えない貴重な時間だと思います。決して遊びの時間と馬鹿にするなかれ。短い瞬間瞬間に友達との間合いだったり、話のニュアンスだったり微妙な感覚を積み上げて安心したり、信頼を寄せたり、納得したりしているのだと思います。子供にはどうしても必要な本来の学び（人間関係の構築・「遊びの中に知恵を見出す子／学校教育目標」）です。お家にいる場合は交流がありません。なんと寂しく学びの少ない時間だと思います。

上谷小はコロナに負けず児童も教員も「明日も学校へ行きたいなあ」という「明日が待たれる学校」（学校教育目標の一部）を続けていきます。



実際にはマスクをして遊んでいます

◇ 表 彰 ◇

🐱 第62回埼玉県小中学校児童生徒美術展

県特選 1年 齋藤 有都 5年 小飼 結音



皆さん、よく頑張りました！

入間地区

特選 1年 石井 葉那 2年 馬場 瑛太 3年 河 佑莉

5年 大利 心

入選 1年 持田 詩織

2年 柳田 優 米澤 美春 丸山 陽奈詩

3年 神田 愛結 富岡 愛梨南

4年 福政 志麻 山本 京良 奈良田 彩桜 丸山 晴輝

小林 瑛斗

5年 仲谷 明日香

6年 栗原 夢芽

〇本に親しみましょう



コロナ禍で外出もままならない。不安な日々が続いています。こんな時だからこそ思いっきり笑えて楽しい本を選んで読みましょう。また、上谷っ子のみなさん、弟妹に読み聞かせしてあげよう。学校で借りた絵本でもいいです。幼い子供たちは驚くほど集中します。集中するのはそれを必要とするからです。

保護者のみなさんも時間があったらぜひお願いします。習慣（約束）になると更にいいです。貴重な「家族」の在り方を確認できる千載一遇の機会とも思います。また日頃はスマホだけでなく、読書の姿を子供に何気なく見せてあげてください。一番のお手本です。これらのことは「入学説明会」でも新入児の保護者の方にお話しました。

本には余計な知識・情報がありません。ネットを経由した悪い人とのつながりもありません。内面的な心の広がり、考えの広がりがあるだけです。時代は変わっても、考え行動する人の原点であり続けると思います。

コロナ対策の取り組み



先日「検温・健康観察方法の変更についてのお願い」文書を配布しました。スマホによる入力を実現するためです。児童の健康状態を早く正確に知り、行き違いを防ぎ、その後の対処に素早く役立てるためです。QRコード読み取りですぐに対応できるように作成しました。再度のお願いとなりますが、よろしくお願いいたします。